

## 5 学力向上プラン（前期）

令和7年度 能登町立鵜川小学校 学力向上プラン

年間のゴールの姿

自分で学び方を選び、みんなでわかるにつなげよう

### 1 授業づくり

#### (1) 現状と課題（R）

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
題意や条件に合わせて適切に説明したり、筋道を明確にして説明したりする力に課題がある。	<p>〔現状と要因〕</p> <p>○伝え合う場や表現するための活動において、友達と考えを共有することは概ねできる。  △自分の考えを適切に表現する力には課題がある。  →適切に表現するための活動の検証不足 適用問題、ねらい達成の見取りの不足  〔根拠となるデータ〕</p> <p>R5 後期児童アンケート：「自分の考えを相手にわかるように表現できた」等 肯定的回答全校(97.7%)  R5 後期診断テスト (58.2%) ノート検証 (76.4%)  R5 県評価問題4 (2) (数や言葉を使って説明する問題) : 正答率 (10%)</p>

#### (2) 計画と実行（P・D）

具体的な取組	評価項目	評価
<p>① つまずきを想定・見取り・手立てを考え、自己決定させる。【ワンステップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最適な学びのコーディネート</li> <li>〔端末・ヒント・コメント機能・友達や教師に聞く・発展問題・教える側へ・個別支援 等〕</li> </ul> <p>② 目的のある交流の場を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果検証（診断テスト） 「自分の考えを適切に表現している」 70%</li> <li>実施検証（つまずき想定表） 「つまずきを想定し手立てを考えている」 100% 「自己決定する場を設定している」 100%</li> <li>研究授業 「自分の考えを適切に表現している」 70%</li> </ul>	

#### (3) 検証と改善（C・A）

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
4	<input type="checkbox"/> つまずき検証（学担 4週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（学担 5週）		
5	<input type="checkbox"/> 参観シート（3・4年研究授業） <input type="checkbox"/> ノート検証（学担 3週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（学担 4週）		
6	<input type="checkbox"/> 参観シート（6年研究授業） <input type="checkbox"/> マネジメントウィーク（管理職 3週） <input type="checkbox"/> つまずき検証（学担 3週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（学担 4週）		
7	<input type="checkbox"/> つまずき検証（学担 2週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（学担 3週） <input type="checkbox"/> 児童アンケート（学担 3週）		
9	<input type="checkbox"/> マネジメントウィーク（管理職 3週） <input type="checkbox"/> つまずき検証（学担 3週） <input type="checkbox"/> 診断テスト（学担 4週）		

取組の成果○・課題▲

### 2 基盤づくり

目標	具体的な取組	評価
「課題」と整合した「まとめ」を書く	学年や児童の実態に応じて書かせ方を工夫し、1年の終わりには、自分で整合性のあるまとめを書くことができるようとする。 例) 1学期はみんなで考える 2学期は書き出しを決めて、3学期は最初から自分で など	